

# 1-P-178 コロナ禍前および禍中における居住地から最寄りの病児保育施設までの最短距離

江原 朗<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 広島国際大学健康科学部医療経営学科

a-ehara@hirokoku-u.ac.jp

**1 背景:**乳幼児(0~4 歳児)は感染症などの急性疾患にかかりやすく、月1回程度は感染症により医療機関を受診している。一方で、感染拡大を予防するため、一般の保育所は微熱などの症状を有する乳幼児の登園を認めていない。こうした背景を受け、病児保育施設が全国的に整備されてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大(コロナ禍)の時期においては病児保育の利用者数が激減した。このため、休業・廃業などにより病児保育施設への地理的なアクセスが悪化した可能性を否定できない。

**2 方法:**こども家庭庁から入手したコロナ禍前(令和1年度)およびコロナ禍中(令和3年度)の病児保育施設のリストをもとに、これらの施設と乳幼児の居住地との距離を緯度経度の差から計算した。そして、乳幼児人口を加味した市町村の最短距離の加重平均値がコロナ禍前とコロナ禍中でどう変化したかを地方別・市町村の規模別に比較した。

表1 地方別・自治体の規模別の500mメッシュ(500m四方の土地区画)数

地方	政令市・ 東京特別区	中核市	その他の市	町村	総数	
					実数	比率
北海道	1,597	1,769	11,262	27,089	41,717	8.9%
東北	1,355	8,735	39,243	23,956	73,289	15.6%
関東	6,640	6,469	47,597	14,569	75,275	16.0%
中部	6,630	10,274	55,582	18,007	90,493	19.2%
近畿	3,770	4,676	23,277	8,563	40,286	8.6%
中国	3,680	6,598	30,190	10,356	50,824	10.8%
四国	-	2,678	13,891	8,885	25,454	5.4%
九州沖縄	3,382	6,554	45,418	18,332	73,686	15.6%
総計	27,054	47,753	266,460	129,757	471,024	100.0%
比率	5.7%	10.1%	56.6%	27.5%	100.0%	

所在地の特定(2024年12月09日~2025年01月04日)  
ジオコーディング(2025年01月16日)による「大字」以下の特定

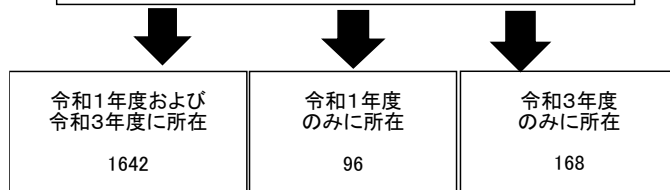


図2 令和1~3年度の病児保育施設数の変化

令和1~3年度に休廃止した施設数を新規開設施設数が上回っていたため(図2)、地方・市町村の規模別の均は3.31kmから3.22kmへと短縮していた。一方で、中部地方や東北地方の大都市ではその距離の延長が見られた(表2)。

表2 居住地から病児保育施設までの最短距離(令和1~3年度の加重平均の比較, 地方別・自治体の規模別)

	最短距離の加重平均値とその差														
	政令指定都市・東京特別区		中核市		その他の市		町村		総計						
	令和1年度	令和3年度	令和1年度	令和3年度	令和1年度	令和3年度	令和1年度	令和3年度	令和1年度	令和3年度					
01北海道	3.35	3.35	0.00	2.97	2.97	0.00	9.03	8.97	0.05	28.57	28.35	0.21	9.49	9.43	0.05
02東北	3.03	2.89	0.13	2.96	3.49	-0.52	6.65	6.43	0.22	10.30	9.70	0.60	5.68	5.61	0.06
03関東	1.37	1.34	0.02	2.45	2.33	0.11	2.63	2.55	0.07	9.06	8.63	0.43	2.30	2.23	0.07
04中部	2.46	2.47	-0.01	2.83	2.93	-0.09	3.55	3.39	0.15	5.81	5.49	0.32	3.39	3.30	0.09
05近畿	1.60	1.51	0.08	1.91	1.91	0.00	2.82	2.73	0.08	4.64	4.44	0.20	2.29	2.22	0.07
06中国	2.37	2.35	0.01	3.08	3.06	0.01	3.87	3.81	0.05	5.92	5.85	0.07	3.36	3.33	0.03
07四国				2.52	2.52	0.00	4.52	4.50	0.01	6.78	6.76	0.02	4.09	4.08	0.01
08九州沖縄	1.83	1.81	0.02	2.26	2.23	0.03	5.03	4.87	0.15	6.99	5.99	0.99	4.05	3.83	0.22
総計	1.79	1.76	0.03	2.48	2.51	-0.03	3.72	3.61	0.11	8.88	8.40	0.48	3.31	3.22	0.09

**4 結論:**居住地から最寄りの病児保育施設までの最短距離は、コロナ禍により利用者数の減少にも関わらず、多くの自治体で短縮していた。

日本小児科学会の定める利益相反に関する開示事項はありません

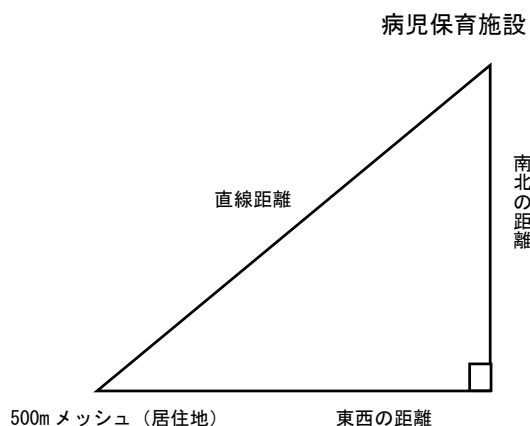


図1 乳幼児の居住する500m四方の区画と病児保育施設との距離を緯度経度の差から三平方の定理で算出

**3 結果:**全国471,024か所の500mメッシュ(500m四方の区画)から病児保育施設までの最短距離を令和1年度と3年度について計算し、両者を比較した。各区画の乳幼児人口で重みづけした距離の平均値を市町村ごとに求めた。

病児保育施設数は、令和1年度には1738(1642+96施設)、3年度には1810(1642+168施設)存在した(図2)。